

『銀盤のトレース age 15 転機』碧野圭／著 実業之日本社 (Y913. 6/ア)

碧野圭



冬のスポーツの中でも最も華やかな種目といえるフィギュアスケート。

主人公の竹中朱里(しゅり)は中学三年生の秋、試合中のジャンプに失敗し、足首を骨折してしまいます。

しかし家族の後押しもあり、数ヶ月のリハビリ期間に猛勉強してスポーツの強豪進学校に合格することができました。学内のフィギュアスケート部に入った朱里はライバル達と練習を重ねていきますが、怪我の恐怖からうまくジャンプができなくなっていました。彼女はその恐怖心を克服するためにある重大な決断をします。

フィギュアの世界がリアルに、丁寧に描かれた青春小説です。

『銀盤のトレース age 16 飛翔』もあります。

いま飛翔のとき

『崖の国の物語 1 深森をこえて』ポール・スチュワート／著 ポプラ社 (Y933. 7/ス)



「飛空船には、背の高い若者の活躍する場所は常に用意されてるぞ」という空賊の言葉がトウィッグは忘れられません。拾われ子のトウィッグはウッドトロルの村で育てられ、13才になると旅に出ました。教えを守らず、神秘的な深森の中で横道にそれたのが冒険の始まり。次々に絶体絶命の危機を切り抜ける旅の中、友達と出会い、また別れます。でも友達がいてもそこは自分の居場所ではありません。トウィッグは自分の居場所を見つけられるでしょうか？空への憧れをかなえることができるでしょうか？シリーズで10巻まであります。

他にも空を翔ける物語があります。

『竜の王女シマー』ローレンス・イエップ／著 早川書房 (Y933. 7/イ)



YAブックリスト 第26号
平成26年12月発行
稲城市立中央図書館
稲城市向陽台4-6-18
☎042-378-7111
<http://www.library.inagi.tokyo.jp>
E-mail: inagilib@library.inagi.tokyo.jp

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



飛翔



「空を飛ぶ」

人類にとって飛翔することは長い間の夢でした。

それが現実になった今、

私たちが飛翔する場所は空だけではありません。

自分の夢にむかって飛び立ちたい！

未来を信じてはばたきたい！

見えない翼をひろげてみましょう！

『科学感動物語 (1) 宇宙一果てしなく広がる空へ』学習研究社 (Y402/カ)

『科学感動物語 (11) チームー夢を実現した最強のきずな』学習研究社

(Y402/カ)



小惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げが成功したことはまだ記憶に新しいですね。人類は地球を飛び出し、はるか遠い宇宙へと人々はその翼をひろげようとしています。

はやぶさやハッブル望遠鏡、NASA、アポロ13号、糸川博士など偉業を通じて、シリーズ第1巻『宇宙』ではその壮大な夢が語られます。

そして、空へのあこがれは、高い建造物も同じです。東京スカイツリーは日本の知恵や技術を最終し2012年に完成。私たちに新しい希望を与えてくれました。

第11巻『チーム』にその秘話が語られています。

『つたえたい、夢の伝記』斎藤整/著 ナガセ (Y280.4/サ)



皆さんはモンゴルフィエ兄弟を知っていますか？18世紀に有人「気球」による飛行を成功させ、空を飛ぶという夢を人類史上初めて実現しました。兄弟は幼少時代の飛びたいという夢を持ち続け、いつも空を見上げていました。二人の夢がひとつの方向へ向かう時、夢の力は何倍にもなったのです。人類の進むべき新しい道を示した20人の伝記を読んで夢の力を感じてみてください。

『僕らが世界に出る理由』石井光太/著 筑摩書房 (Y159.7/イ)

何か始めたい、でも一歩が踏み出せない。その一歩が踏み出せたら、それは空を飛ぶような飛躍に匹敵するのではないのでしょうか？世界に飛び出した筆者が、どのようにしてノンフィクション作家になったのかが語られます。夢に向かって前進するわたしたちの背中を押してくれる1冊です。



『アポロ13 そして奇跡がおきた』ダイナ・アナスタシア/著 文溪堂

(Y933.7/ア)



歴史上初めて人を月に運んだことで有名な宇宙船は、アメリカのアポロ11号ですが、その翌年、宇宙飛行した13号について知っていますか？

1970年4月に月を目指して打ち上げられた2日目、船内に爆発音が響き渡りました。機械船の酸素タンクが爆発したのです。3人の乗組員は深刻な電力、水、酸素不足に見舞われ、死に直面します。ヒューストンの管制センターでは彼らを救う為全力で知恵を出し合い、乗組員たちはあらゆる手段を使って帰還しようとします。実話に基づいた奇跡の生還の物語です。

↓こちらのお話はフィクションですが、宇宙つながりでこちらもオススメ。

『たったひとつの冴えたやりかた』ティプトリー・ジュニア/著 早川書房 (Y933.7/テ)

『探検と冒険の物語』松島駿二郎/著 岩波書店 (Y290/マ)



広い世界に行ってみてみたい！知らない土地をみてみたい！博物学、生物学の上でダーウィンとウォレスはそれまでの定説を覆し、まさに新しい飛躍となる大発見をしました。二人は熱帯に出かけて行き、その観察から新しい進化の概念を見つけたのです。またほかにも新大陸を発見した大航海時代のマゼランやクック、極地の厳しい自然に挑んだスコットやアムゼン、彼らの物語に胸が熱くなります。

『話してみよう旅行の英語』大津幸一/著 岩波書店 (Y837/オ)



海外に飛び出すときに英語をしゃべれると自信がでますね。歴史や地理に詳しい秀雄くん、アメリカで短期ホームステイの経験がある美雪さん、英語のリスニングには自信のある次郎くん。3人の高校生が夏休みを利用してイギリスを旅していく内容です。さまざまなシーンで3人は、今まで勉強した英語を実際に使うチャレンジをします。イギリスの名所の写真や歴史的背景も盛り込まれており、まるで旅行した気分になれます。英会話の本としても、旅行記としても、楽しく読める一冊。3人と一緒に旅をしながら、イギリスと英語の魅力に触れてみましょう。

『夜間飛行』サン＝テクジュペリ/著 光文社 (953/サ)

民間飛行の黎明期、南米で夜間郵便事業を起こし、成功させようと挑む男たちがいました。この本には4人のパイロットが登場しますが、それぞれが困難に遭遇します。ある夜、プエノスアイレスへ向かっていたパタゴニア便が激しい嵐にあいます。静かな地上と嵐に翻弄される上空の対比、冷静に司令を続ける不屈な精神の社長、命をかけて懸命に飛び続けるパイロット、物語にぐいぐいと引き込まれていきます。自身も郵便飛行機のパイロットであったサン＝テクジュペリの詩情あふれる文章をお楽しみください。

第1次世界大戦前、飛行機に魅せられた物語、こちらもどうぞ

『雲のはて フランパース屋敷の人びと2』 Peyton/著 (Y933.7/ベ)

飛び越えるのは空間ばかりではありません。時を飛び越えたら？

『時間旅行は可能か？相対性理論の入口』二間瀬敏史/著 筑摩書房 (Y421/フ)

『マンガで読むタイムマシンの話』秋鹿さくら/漫画 講談社 (Y421/ア)